

## ■ 講評

同財団は、企業人やデザイナー、主婦や学生、そして障害のある人などが「バリアフリー社会の実現」という同じ志で平成2年に立ち上げた任意団体「E&Cプロジェクト」が、発展的に解散し、設立されたものである。

発足以来、「日常生活における高齢者や障害者等の不便さ実態調査」、「不便さ解決案の創出」、「企業、業界、海外への普及啓発活動」を通じ、障害の有無、年齢の高低に関わりなく共に使いやすい製品・サービスの普及に大きな影響を及ぼしている。

また、JISにおける標準化と企業・業界の共用品・共用サービスの普及の実績をもとにISOに「共用品・共用サービス」の推進指針作成を提案し、日本発の「ISO/IECガイド71」(規格作成における高齢者・障害者のニーズへの配慮ガイドライン)の完成に大きく貢献した。このガイドの効果は、完成後すぐに、国内及びヨーロッパ各国への影響を与えはじめている。



釜山展示会



福祉機器展示会